

複合経営／アスパラガス、水稲、麦、大豆／栽培技術の確立・向上
事業による水源の安定化からアスパラガスの産地化へ
～佐賀県佐賀市 Y経営体～

経営体の概要

事業実施前：昭和48年
基幹作物：水稲、麦、大豆
経営面積：3ha



現在：令和4年
基幹作物：アスパラガス、水稲、麦、大豆
経営面積：7ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- クリークに塩水侵入があり、かんがい用水の確保に手間がかかっていた。
- 地下水には塩分の影響があり利用できない。



【事業実施後】

- 国営筑後川下流事業及び関連事業によりクリークから安定取水。アスパラガス栽培を開始。



水源となるクリーク



クリークから取水するポンプ

営農改善、経営転換等のポイント

①作物の変化

就農時（昭和48年）は米、麦、大豆の栽培であったが、国営筑後川下流事業及び関連事業による水源の安定化及び関連事業による施設整備により農業用水が安定的に供給されたことを契機に、かん水が不可欠であるアスパラガスを平成20年から30aで栽培開始。2年目に20a増やし、現在50aで栽培。

②栽培技術の確立・向上

かん水作業を均一に行うため、ハウス脇のクリークから個人のポンプで揚水し、チューブによりかん水している（2月から10月は毎日かん水）。かん水タイマーを取付けることにより作業を省力化している。また、液肥混入器を取り付け追肥の作業も省力化している。

③流通・販売の工夫

集出荷施設が平成14年に川副町に統廃合され新設。各生産者が収穫物を集出荷施設に搬入後、機械選果と予冷を実施、JAから東京、大阪等中央市場に出荷。佐賀県JA全体で約24億円の出荷となっている。経営者は県及び地域のJAアスパラ部会長として部会をけん引している。



事業概要

事業種：国営筑後川下流土地改良事業
関連事業：国営佐賀中部農地防災事業、県営事業等
関係市町：福岡県久留米市他7市町
佐賀県佐賀市他11市町
受益面積：40,899ha
事業期間：昭和51年～平成30年
事業目的：用水改良
主要工事：揚水機場3箇所、導水路L=23.9km
幹線水路L=208.5km 等

位置図



筑後川下流地区

<問い合わせ先>

九州農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化推進係
電話：096-300-6498

（令和5年度調査時点）